

## 欧州紀行(9) クリスマンサンド寄港、そしてサウサンプトンへ

2023-6-23 池田良穂

本クルーズ最後の寄港地は、ノルウェー最南端の港町クリスマンサンドでした。デンマーク北端のヒルツホルスからのカーフェリーが運航されており、ノルウェーの海の玄関口の 1 つです。フェリーを運航するのはカラーラインとフィヨルドラインの 2 社で大型カーフェリーとアルミ製の超高速双胴カーフェリーも就航しています。

入港前から雨模様でした。クルーズ客船が到着したのは、コンテナ埠頭の横の狭い岸壁で、ヨの字型の小さな栈橋に、きわめてゆっくりと着岸しました。目の前にはフェリーターミナルがあり、デンマーク航路のフェリーが出入港するのが船上からよく見えました。

雨が結構強かったので、下船するのはやめて船上でゆっくりと過ごすことにしました。船上のパブリックスペースは多くの乗客で賑わっていて、同じように下船をやめた人も多いようでした。ダウンタウンまで徒歩で 10 分ほどなので、雨のやみ間にでかける人の姿もありました。

20 時に出港しました。この日のシアターでは、ロンドンでも人気という 2 時間のミュージカル「We Will Rock You」が公演され、観客でほぼ一杯になっていました。同じ出し物は、翌日の昼間と夜にも行われました。これでほぼ全員の乗客が見られるキャパシティが確保されたことになりました。

翌日は 1 日航海日で、天気も回復してサンデッキは乗客で溢れていました。船に出会うことはめったになく、緊張感なくリラックスして過ごせる時間でした。

これまでのレポートでは、この船のことはほとんど書いてきませんでしたので、少し「アンセム」のことに触れておきたいと思います。

乗船した「アンセム・オブ・ザ・シーズ」は、ロイヤル・カリビアン社の 17 万総トン級のクエンタム・クラスの第 2 船としてドイツのメイヤー造船所で建造されました。第 1 船のクエンタムはアジア水域、第 2 船の「アンセム」が欧州水域でのクルーズを行っています。

ロイヤル・カリビアン社の船隊の中では、多層吹き抜けのダイナミックで派手な内装で各時代のクルーズの在り方を常に変えてきたソブリン、ボイジャー、オアシスと続く巨大船と一線を画して、どちらかというとしつこく落ち着いた船となっています。メインダイニングは吹き抜け構造の巨大なものではなく、3 層と 4 層の船尾側に、各層の左右に区切った計 4 つのレストラン(Silk、American Icon Grill、The Grande、Chic)に分けています。就航時のクエンタムでは、それぞれのレストランで違った料理を提供していましたが、今は、料理は同じものが提供されています。

ショーなどの主要エンタテインメントのための施設が、船首の 2 層のロイヤル・シアターと、船尾の 2 層にわたるガラス窓のある Two 70 であり、ロイヤル・シアターではブロードウェイショー、マジック、ミュージカル等のだしもの、Two 70 ではバーチャルな出し物が多く、ロボット画面が多彩な動きをす

る演出が光ります。

コロナ禍を終えて、だいぶ、サービス体制が変わっています。スマホの専用アプリで、船内のサービスの情報が見ることができ、各種の予約も簡単にできます。船内新聞も、紙での配布は原則なくなり、スマホで見られるようになっていました。ただし、部屋の担当者に頼めば、従来通りに夕刻に紙の船内新聞を届けてくれました。

部屋の清掃は、かつては毎日 2 回でしたが、1 回に変わっていました。ただし、時間指定が可能で、今回は 18 時からの清掃を依頼しました。部屋の担当者に聞くと、22 室を担当しているとのこと、この数はこれまでの 2 倍ですので、部屋の担当者の数は半分になったということになり、人件費のコストが減らせています。余計なサービスを省いたこととなります。

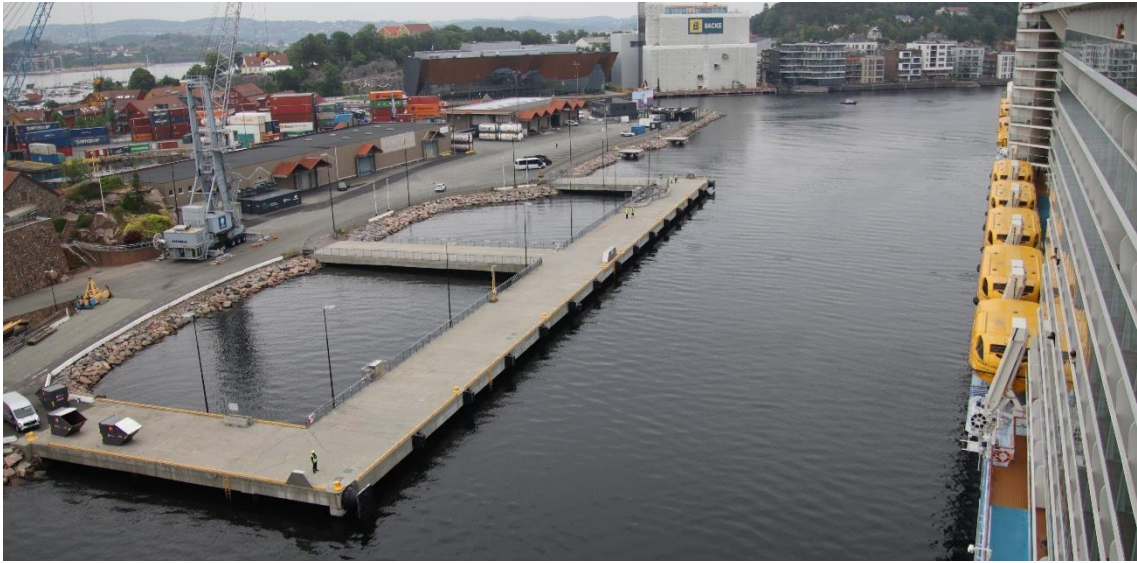
それぞれのレストランのオープン時間も短くなっていました。スマホを使えば、瞬時に、どこがオープンしているかが確認できるので、効率的なレストランやバーの運用が可能となったということになります。例えばスマホのアプリの中の「Are you hungry?」というボタンを押せば、その時点で利用できるレストランが瞬時にわかります。ルームサービスは 24 時間いつでも可能となっていますが、原則有料なので船にとっては収入が増え、かつ 1 ヶ所で集中して調理、配達ができるので生産性は高いはず。乗客の利便性も向上して、人件費も減らせて、クルーズ客船の生産性はかなり上がっているように思います。利用者の満足感を上げて、かつ会社としての生産性を上げているのはさすがだと思います。



クリスチャンサンドのフェリーターミナルからカラーライン「スーパースピード 1」が出港する風景です。フィヨルドラインの「フィヨルド FSTR」(Fjord FSTR)が停泊しています。



出港する「スーパースピード 1」です。



クリスチャンサンドのクルーズ客船埠頭です。



フィヨルドラインのカーフェリー「ベルゲンスフィヨルド」が入港してきました。この船とはベルゲンとスタバンガーでも出会いましたので3回目。よく活躍しているようです。



サンデッキの室内プールエリアです。



ソブリン、ボイジャー、オアシスクラスのような多層吹き抜けの空間はなくなり、他社のクルーズ客船のように2層吹き抜けのアーケードだけの造りです。



ノルウェーの港では陸上電源をとっていました。



ブリッジ上部に造られたソラリウムは、前方が見渡せる唯一のパブリックルームで、船上からのシップウォッチングはここで行っていました。



左に見える球形の展望ドーム「ノーススター」は、予約をしておくとも無料での空中散歩が楽しめます。15分おきの運行で、実際の滞空時間は10分ほどでした。クアンタム・クラスの全船がもつ施設ですが、クアンタム、スペクトラム、オペーション、アンセムと同クラス船4隻に延べ6回乗りましたが、「ノーススター」にの乗るは初めてでした。